Tとことん、A会って、Cコミュニケーション!!

鳥取TAC通信

第１９４号　　令和８年７月発行

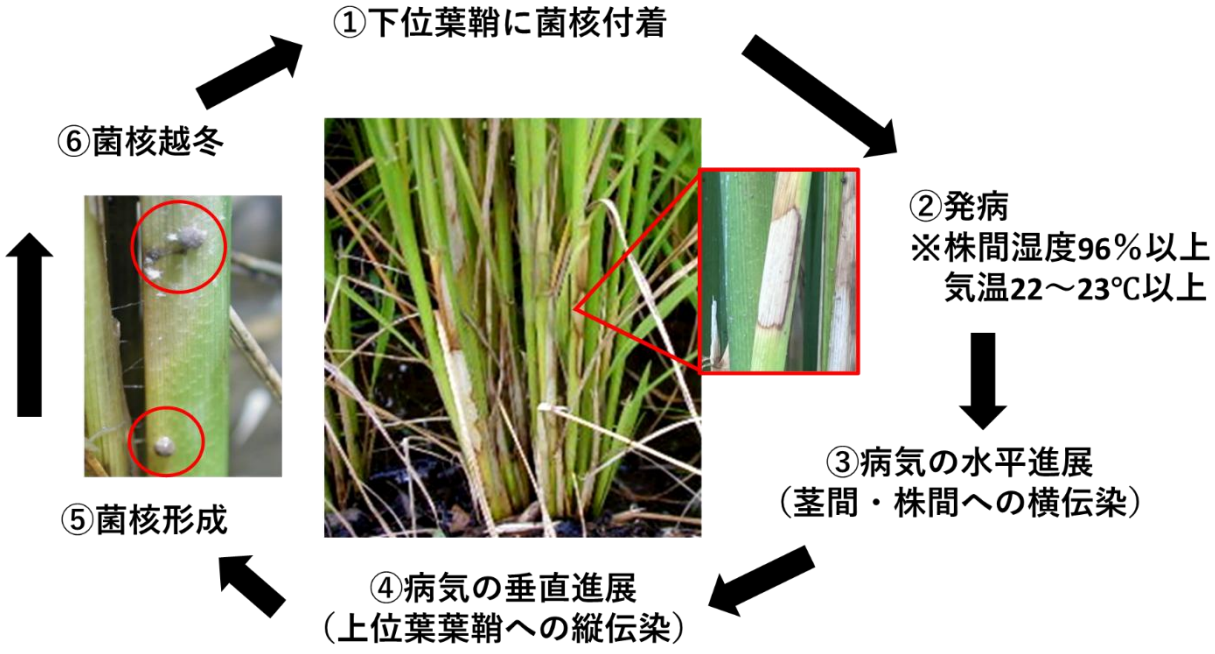
～ イネ紋枯病とその防除法 ～

イネ紋枯病はいもち病に並ぶイネの重要病害です。高温で晴れた日の多い年に多発し、被害がひどい場合には減収を引き起こします。しっかりと対策をしましょう！

○紋枯病とは

糸状菌（カビ）の一種であるリゾクトニア菌によって引き起こされる病害です。イネに感染後、病斑上に褐色で直径 5mm 前後の半球形の**菌核を形成**します。この菌核が地面に落下し、翌年の伝染源となります。

そのため、**前年に紋枯病が発生した圃場では特に注意が必要**です。紋枯病は幼穂形成期頃から水際の葉鞘部分に発生し、次第に上部に進展し、上位葉葉鞘へ病気が進むと大きな被害をもたらします。品種間差はありますが、紋枯病によって、**早期栽培で 30～40%、普通期栽培で 14%も減収**することがあります。



（出所：JA 全農　農薬研究室　農薬技術情報　2026/5/27）

○防除方法

耕種的防除

・紋枯病は畦畔の雑草にも感染し、翌年の伝染源となります。そのため、**冬の間に畦畔雑草を除去**しましょう。

・代掻き時に土中にある菌核が浮いてくるため、**畦畔沿いの浮遊物を除去**しましょう。

・多肥栽培をすると、茎葉が繁茂し紋枯病が感染しやすい環境となるため、**肥料は適切な量**を使いましょう。

薬剤防除

・紋枯病の被害から上位 3～4 葉の葉鞘を守ることが品質、収量向上に必須です。箱処理剤や本田散布剤を用いて防除しましょう。

おすすめの箱処理剤（2026 年 4 月現在）

剤型区分	薬剤名	有効成分名
箱剤	エバーゴル箱粒剤、スクラム箱粒剤、ルーチンエキスパート箱粒剤	ペンフルフェン
	モンガレス箱粒剤、稲大将箱粒剤	インピルフルキサム
	リガード箱粒剤	フルキサピロキサド

おすすめの本田散布剤（2026 年 4 月現在）

剤型区分	薬剤名	有効成分名
ﾌﾛｱﾌﾞﾙ/液剤	アミスターエイト	アゾキシストロビン
	バリダシン液剤 5、バリダシンエアー	メプロニル
	モンカットフロアブル	フルトラニル
	モンセレンフロアブル	ペンシクロン
粒剤	イモチエース粒剤	メトミノストロビン
	モンカット粒剤	フルトラニル
	モンガリット粒剤	シメコナゾール
	リンバー粒剤	フラメトピル

※本田散布剤は便宜的に単剤を記載しておりますが、単剤では上市していないものも含まれます。

※フロアブルや液剤については、使用方法「散布」の登録内容を記載しています。

※使用にあたっては、ラベルを必ずご確認下さい。

お問い合わせは全農とっとり肥料農薬課までお願いします。（TEL：0857-31-1314）

～ ザルビオの活用方法をご紹介（穂肥・防除の検討）～

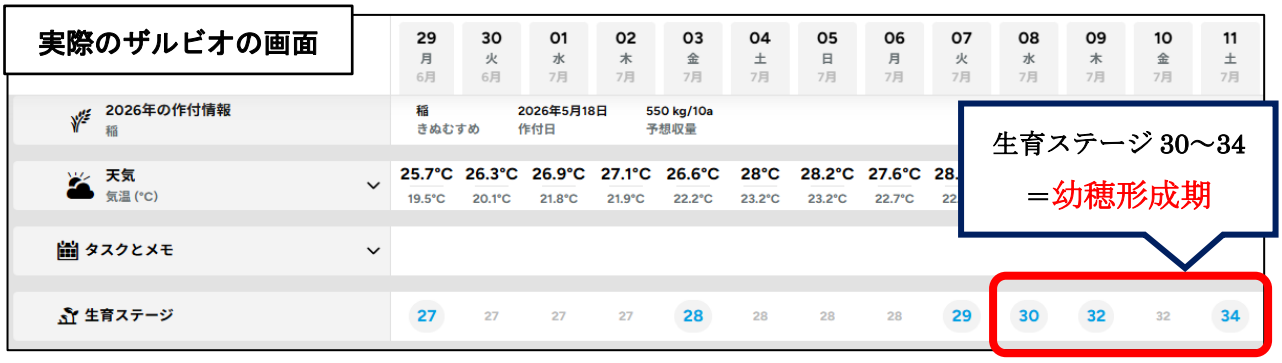
今回は、穂肥の検討、そして紋枯病などの防除の検討への活用方法をご紹介します。

○穂肥の検討

生育ステージの確認（穂肥実施時期の判断）

ザルビオでは、穂肥の実施時期である幼穂形成期をいつ頃迎えるのかを確認することができます。地域の栽培暦とあわせて、穂肥の実施時期の判断に活用できます。

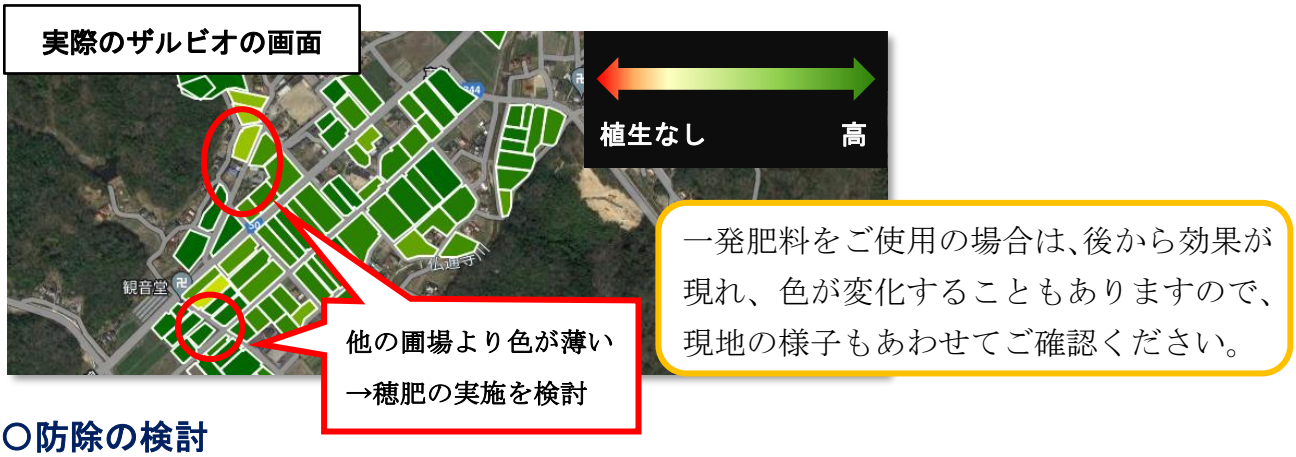
実際のザルビオの画面



生育ムラの確認（穂肥の実施の検討）

生育ムラが緑の濃淡で可視化されます。穂肥の施用量や施用の有無を検討する際の参考として活用できます。

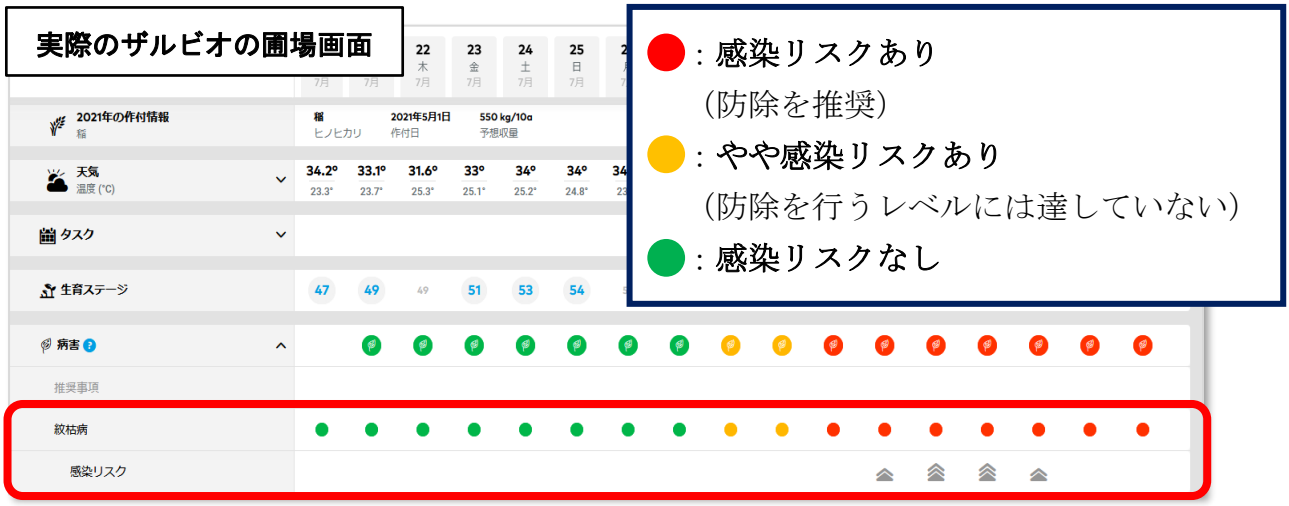
実際のザルビオの画面



○防除の検討

紋枯病やいもち病などの各種病害について、事前にリスクを把握できることで、病気の早期発見につながります。

実際のザルビオの圃場画面



～令和８年度ＴＡＣアグリビジネススクールについて ～

担い手の課題解決につなげるための営農（技術、地域振興および経営等）に関する知識取得および事例等の共有を図るため、今年度も以下の内容にて開催いたします。

すべてにご参加いただかなくても問題ありませんので、「この回の話を聞いてみたい」と思われる内容がありましたら、お気軽にご参加ください。（受講費用：無料）

回	日程	時間	テーマ
3	８月 ５日(水)	10：00 ～ 15：00	農業労働力支援・相続・事業承継
4	９月 ２日(水)	10：00 ～ 15：00	農業現場における労務管理、会計基礎
5	10 月 ７日(水)	10：00 ～ 15：00	会計、税務研修①
6	11 月 ４日(水)	10：00 ～ 15：00	会計、税務研修②
7	12 月 ２日(水)	10：00 ～ 15：00	会計、税務研修③
8	１月 ６日(水)	13：00 ～ 15：00	販売強化の取り組み
9	２月 ３日(水)	13：00 ～ 15：00	生産資材、技術情報②
10	３月 ３日(水)	13：00 ～ 15：00	農政情報･総括と次年度の取り組み方針について

※内容は変更になる場合があります。
※カリキュラムによっては開始・終了時間が異なります。
※開催場所および各回の詳細内容、参加の申込につきましてはJA 全農とっとり TAC 推進課までお問い合わせください。

～ 今月のグリーンレポートはこちらから確認できます ～



QR コード



①「**全農**」で検索
②ホームページの「**ライブラリ**」をクリック
③「**全農の出版物**」をクリック
④グリーンレポート「**最新号**」をクリック

【問合せ先】JA 全農とっとり
資材部 TAC 推進課
TEL:0857-32-8341 FAX:0857-28-6750

TAC（タック）は「地域農業の担い手に出向く JA 担当者」の愛称です！